

原発回帰をしてはいけないこれだけの理由

穴だらけの

原子力防災

核のごみ

原発のお値段

放射能汚染

講師

満田夏花さん

みつた・かな

(国際環境 NGO FoE Japan 事務局長)

原発事故から13年もたない2023年、政府ははっきりと原発推進に舵を切りました。「脱炭素」の名のもとに、原発再稼働や運転期間の延長を後押しし、次世代革新炉の開発・建設に資金を投じるGX推進法、GX脱炭素電源法（原子力基本法、原子炉等規制法、電気事業法など5法の改正）が国会を通過したのです。経済合理性がない原発は、もはや生き残ることができないため、国が私たちの税金を使って原子力産業をテコ入れする、そのための法的環境を整えたとみるべきでしょう。本年元日に発生した能登半島地震では、震源近くに立地する志賀原発も強い揺れに襲われ、多くのトラブルが生まれました。幸いにして長期停止中だったため、深刻な事故にこそ至りませんでした。改めて原発の脆弱性、とりわけ原子力防災の非現実性を浮き彫りにしました。原発は、ウラン採掘から燃料加工、運転、核燃料の処分、廃炉に至るまで、放射性物質による汚染や人権の問題がつきまといまいます。原発のコストは上昇を続け、今や最も高い電源です。経済的な理由だけでも、脱原発は必要でしょう。

略歴

2009年よりFoE Japanにて、日本の資源調達や開発援助が発展途上国などに及ぼす影響等について調査・政策提言に取り組む。2011年3月11日を機に、原発事故被害者の権利や避難者支援、脱原発、エネルギー転換をめぐる運動や政策提言活動に従事。

主な著書

『福島と生きる：国際NGOと市民運動の新たな挑戦』（共著、新評論、2012年）、
『「原発事故子ども・被災者支援法」と「避難の権利」』（共著、合同出版、2014年）など。

日時

2024年4月7日(日) 14:00~16:30

場所

雑司ヶ谷地区文化創造館 第1会議室 A

申込み方法 ① 次の URL 又は QR コードからお申込みください。

<https://forms.gle/YVm5MEZHKGKqAJDjn8>



会場参加

「東京メトロ 副都心線 雑司が谷駅」2番出口直結
都バス「千登世橋」停留所より徒歩2分（池65、池86）

申込み方法 ② 次の URL 又は QR コードからお申込みください。

<https://begleiten240407.peatix.com/>



オンライン 及び 事後配信

(当日は、時間が取れない方も、事後配信で参加できます。)

Zoom の URL

お申込み確認後、4月7日(日)13:00~13:30に
Zoom の URL、ID、パスワードを、個別にご連絡します。

主催



<http://begleiten.org/>

<https://www.facebook.com/begleiten2>

<https://twitter.com/Begleiten2001>

問合せ先

関根 090-9146-6667 k_sekine@f7.dion.ne.jp